

あわらし みらい創造ワークショップ 実施報告書



令和7年6月

1. ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

「第3次あわら市総合振興計画」策定にあたり、市民の想いやまちづくりのアイデアを計画に反映させるため、これからのあわら市について語り合ってもらいました。

(2) 実施概要

開催日時	：第1回 令和7（2025）年4月12日（土）10：00～12：00 第2回 令和7（2025）年5月10日（土）10：00～12：00 第3回 令和7（2025）年5月24日（土）10：00～12：00
開催場所	：あわら市役所 3階正庁
参加人数	：第1回 28名、第2回 26名、第3回 25名
参加者	：自営業の方、農業者、旅館関係者、子育て中の方、学生、市の若手職員等
実施方法	：第1回 ワールドカフェ方式による意見交換 第2回 KJ法による意見交換 第3回 KJ法による意見交換、グループ発表

(3) 実施内容

全体テーマ	あわら市の未来を創造しよう！
第1回	あわら市の好きなところ、変えたいところ
第2回	めざしたい未来のあわら市とその実現のために必要なこと
第3回	まちづくりのアイデアの具体化

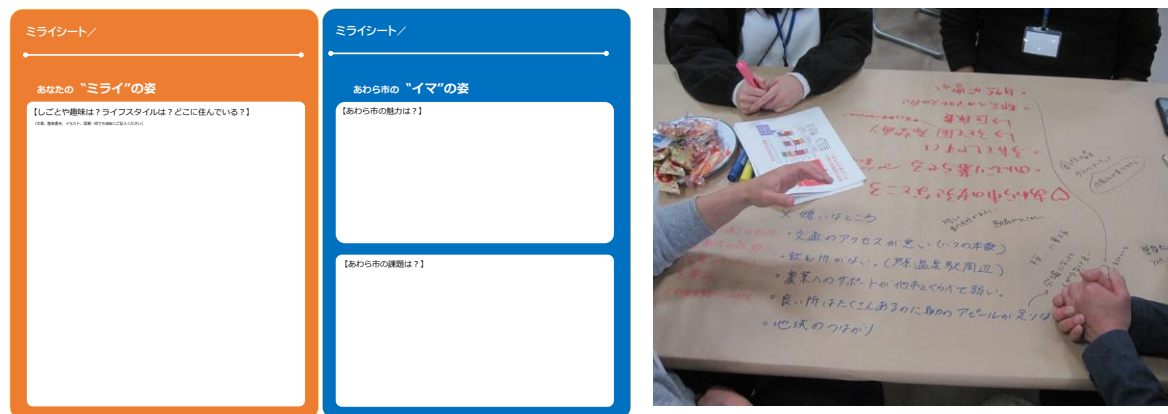
(4) グループテーマ

① 産業・仕事・観光	農林水産業、商工業、雇用、観光等に関すること
② 生活環境・安全、環境・都市基盤	自然環境、リサイクル・ゴミ、住環境、上下水道、交通インフラ、防犯・防災、交通安全等に関すること
③ 福祉・保健・医療	子育て支援・地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉・健康づくり・社会保障・医療等に関すること
④ 教育・文化・スポーツ	学校教育、生涯学習、スポーツ、歴史・文化等に関すること
⑤ 共生、協働・コミュニティ	多文化共生、男女共同参画、人権尊重、市民協働、地域コミュニティ・移住・定住等に関すること

2. 実施結果のまとめ

(1) 第1回の検討内容

「あわら市の好きなおとこ、変えたいところ」をテーマに、ワールドカフェ方式で意見交換したあと、話し合った内容も含めて、あわら市の魅力と課題と10年後の自分の姿について一人一人が「ミライ提案シート」にとりまとめて記入しました。



■ミライ提案シートの記載内容まとめ

	あなたの“ミライ”の姿	あわら市の“イマ”の姿	
		あわら市の魅力	あわら市の課題
1	・仕事:出版、教育 ・趣味:研究、模型、読書 ・ライフスタイル:幸福の追及 ・どこに住んでいる:越前市か岩手県	・静かなところ ・空いているところ(駐車場等) ・自然が豊か ・子育て支援センターは割といい	・つながりが持ちにくい ・市民の意見が行政に反映しにくい ・温泉寄りの行政 ・住民の減少 ・観光業に未来はあるのか
2	・あわら市に住んでいたい ・自分らしく仕事・趣味を充実させたい→居場所が見つかるといいな ・仕事:時間、場所、もっと柔軟に稼げると ・趣味:スポーツ、農業とか興味ある	・自然(桜) ・静かできれいなまち ・創作の森、図書館、道の駅 ・過ごしやすい	・働く場所の選択肢が少ない ・移動手段の少なさ ・市民参画型のまちづくりの仕組み ・居場所、気軽に入れる飲食店
3	・あわら市で住みたいと思えるような未来を！ ・職場のアクセスも良い所で、福祉分野が充実し、働く場所や障がいのある方の生活が豊かになるといい ・通勤で1.5時間はかけたくない	・温泉がある ・静かな所が多い ・自然が豊富 ・住みやすい、子育てしやすい ・創作の森 ・駅(道の駅)がおしゃれ ・緑が深い ・人間関係で助け合える	・市政が温泉寄り、観光客向けの取組はあるが、住民向けの取組… ・居場所が少ない(大人、雑談ができる場所) ・働く場所(インターン)がない ・人とつながる機会がない・住む場所、事務所(少人数向け)を見つけづらい ・チェーン店が無い、映画やカラオケなどの娯楽が少ない ・自然は多いが産学官が少ない ・バイトをする世代が少ない ・リピーター

	あなたの“ミライ”の姿	あわら市の“イマ”の姿	
		あわら市の魅力	あわら市の課題
4	・環境にかかわるような仕事をしたい ・住み心地の良い場所に住む ・のんびりしている ・スーパーや病院が近くにある ・自然観察ができるような場所 →自然豊か、公園がある、街路樹がきれい	・温泉がある、人が少なく静か ・子育てしやすく、制度も充実 ・人間関係がある ・フルーツが豊か ・魅力ある企業がたくさんある(大中小企業全て) ・創作の森がある、大学が2つある ・駐車場が無料	・市政が温泉に寄りすぎ ・居場所がない(特に大人の) ・働く場所があまりない→スキルがないと働きにくい ・産学官の連携があまりない ・新規転入者とのコミュニケーションが取りにくい(ex. 自治会、外国人)
5	・今のまま農業を続けて新鮮な野菜を旅館や道の駅、直売所に届ける ・今住んでいるところに住んでいる	・温泉がある、静かなところ ・桜のきれいな場所がたくさんある ・創作の森は自然があり、食べるところ、鑑賞できるところが良い ・道の駅スタッフが全員女性で陳列等を含めて女心をくすぐる。県内の道の駅で一番良い	・温泉旅館の値段が高くなり、地元の人がいけなくなった ・創作の森を中心とした観光地づくり ・作家家の屋台村バージョンを県産の木材を使って作る ・作家さんの移住のきっかけを作る ・女心をくすぐる場所がない
6	・住むところは変わらない ・<u>事務所を持っていたい</u>→若い人や女性に仕事(デザイン業)のノウハウを教えられたら ・老若男女が集まることができる場が作れるといい ・あわら市の情報発信の仕事をしたい(web、sns等)	・人混みが少なくボーっとすることができる ・ストレスが少なく生活できる ・自然が多い、星、空、空気、海がきれい ・芦原温泉駅があってアクセスが良い ・温泉がある	・良いところを知らないことが多い ・アルバイトをする若者が少ない ・産学官の連携が弱い ・バラバラなものをつなげると魅力になるものがありそう ・飲食店が少ない、アクセスが悪い
7	・自分のやりたい仕事ができる場所であることが第一なので福井にあるのなら選択肢の1つになる ・趣味ができると地元に戻ってくるかもしれない ・研究や分析など自分がやりたい仕事中心の生活がしたい ・適度に人が少ないけれど、都心へのアクセスが良い。ベッドタウンが課題	・人が集まりすぎていないから静かでゆっくり過ごすことができる。 ・山、海、湖など自然が多く、星がきれい、空が広くて落ち着く ・ご飯がおいしい	・インフラ整備が少し物足りなく、特に小中学生の習い事の送り迎えなどが必須だったり、時間を見ながら動く必要がある ・システムものはあるのに知名度がなく、知らない人が多いことがある車無しで生活が難しい
8	・子供2人 ・週末は旅行、サーフィンしたい(アウトドア) ・色々な分野の仕事を経験し、1人の人間として面白い人に ・人生を楽しんでいるように見える	・自然豊か、空が広い、ボーっとできる ・食べ物おいしい ・ストレスが少ない	・インフラ、電車、バスの数が少ない ・働くところが少ない。あったとしても知らない ・何十年と続くような新しいイベントがない
9	・変わらず地元住まい。休日は釣り、犬の散歩 ・病院はオンライン診療で移動はアプリ配車のタクシー。 ・仕事はリタイア ・快適な田舎暮らし。<u>不便さはDXで解消</u> →多少の不便さは楽しんで	・食の魅力にあふれている！ ・水がおいしい→なんでもおいしい ・自然豊かでストレスフリー ・空が広い(海、山、河、湖)	・移動(車移動必須) ・観光地、拠点、人、情報が繋がっていないことが多い ・<u>情報が届いておらず、知らないことが多い</u> →情報発信が課題

	あなたの“ミライ”の姿	あわら市の“イマ”の姿	
		あわら市の魅力	あわら市の課題
10	・あわら市に住んでいる ・県外に住む子供の所を旅しながらあわら市を拠点に生活 ・少し働きつつ、のんびりと	・自然がたくさん ・子育てしやすい	・あわら市がどんなところか知ってもらう ・インフラ
11	・あわら市に住んでいる ・空飛ぶタクシーに乗っている ・ジムに行っている、楽しく暮らしている ・観光客が世界中から来てあわら市が有名になっている	・人が良い ・考え方が保守的 ・今現在も笑顔で楽しく暮らしてる	・人口減少をどうするか ・空き家対策 ・住民同士の人間関係が薄れている
12	・保育教師としてあわら市で働いている ・結婚してあわら市に住む ・子育てをしながら仕事を両立させている	・ご近所さんの付き合いでお話をしたりお野菜を分け合うところ ・挨拶があるところ ・静かで安まる ・信頼する大人の目があるため子育てが安心できる	・働く場所や人が集まれる場所が少ない →人が出て行ってしまうがち
13	・仕事に追われているけど充実している ・一人暮らしで趣味に全力	・自然観光資源が豊富 ・人とのつながりがある、のんびり、ゆるい雰囲気 ・産業(SHINDO、H&F) ・大学がある	・交通インフラの不足 ・あわら市独自の魅力づくり ・隣接市とのギャップ
14	・趣味:アウトドア ・ライフスタイル:逆転の生活 ・住んでいる場所:金津	・静か、自然、移動手段(遠方) ・食べ物、温泉	・情報発信力 ・空き家
15	・住む場所は石川県になりそう ・地域貢献したいため、社協で働きたい ・楽器演奏(ベース、ドラム等)。バンドを組んで演奏会したい	・人があたたかい(野菜の渡しあい等) ・自然豊か(北潟湖等) ・県外に行きやすい(北陸新幹線、高速のICがある) ・伝統の祭りやイベントがある(湯かけまつり、金津祭) ・フルーツがたくさん(メロン、スイカ、柿、越のルビー等) ・芦原温泉がある、ゆっくりできる場所がある ・空が広く見える	・市内の交通の便が少ない ・乗り合いタクシーの停留所まで高齢者が歩けない ・風習の行事を変えたがらない ・駅から温泉街まで遠い ・チェーン店が少ない ・温泉街をもっと発展させたほうがいい
16	・金津に住みながら楽しく働いている ・家族も近くにいて会いたいときにすぐ会える ・DX化が進み、必要な手続きは全てオンラインで完結 ・車がなくても生活ができる	・おだやかなところ(人々が親切、安まる場所) ・食べ物がおいしい(フルーツ王国) ・温泉がある自然を利用したスポーツができる	・人が集まる場所が少ない(飲食店がない) ・伝統行事はあるが、新しいものが生まれない→官、民、学、金が一体となったイベント、お祭りを作る仕組み ・働きたいと思ってもらえる就活の早さに企業が追い付かない。インターンをやっている会社も少ない→働きたいと思ってもらえる ・交通の便→温泉までの道のりを整備 ・あわら市内でも人口の分散ができないか？

	あなたの“ミライ”の姿	あわら市の“イマ”の姿	
		あわら市の魅力	あわら市の課題
17	・家を建てて子供、家族と一緒に生活していきたい ・何事も楽しんでいけるような人生 ・住む場所は異なるかもしれないが、あわら市の職員としてずっと働きたい ・市職員としてなにかしら貢献していきたい(今回のようなイベント参加、まちづくり等) ・トリムマラソンには毎年参加したい(健康のためにも)	・人があたたかい ・温泉がある ・自然豊か(それを使ったイベント) ・まちになじみやすい(一長一短) ・フルーツをはじめとした食品の豊かさ	・新しいイベントが少ない(フレキシブルにイベントを増やしたい) ・働き口が少ない(企業 PR やインターンが少ない) ・人とつながる場所が少ない(今日のようなイベント) ・交通手段、インフラ整備 ・子どもの経験として様々なイベント、体験行事を行う ・若者の話し合いの参加率
18	・仕事や趣味:イラストやアートを描いている。”つくる”をテーマに活動している ・ライフスタイル:子供が少し大きくなって自由な時間が少し増える予定 ・住んでいる場所:あわら市	・自然が豊か(山、海、川、湖) ・温泉 ・大学のキャンパスが2つもある ・食べ物がおいしい(果物、さつまいも) ・創作の森、美術館(このような美術館は無い) ・新幹線(東京に1本で行ける)	・あわら温泉駅と湯のまち駅(あわら温泉)の移動 ・市民が自慢したくなるまち(周りからイネと言われる) ・駅の周りに何もない(コンビニ、飲食店が少ない) ・観光スポットがない、目立つものがない(アートの街、まちの雰囲気、おもしろさ→湯かけまつりは面白い、昔のダンボートレースとか)→「ポーっとできる」を推しながらブランディングする ・大学キャンパスを活かせていない ・場所を活かせていない(伝え方・PR、竹田川、創作の森、北潟湖、海、山) ・坂井市との連携(坂井市のまちづくりが盛り上がっている)
19	・若者が集える場所を(住める場所) ・創作の森、温泉、ターゲットを絞った魅力発信を ・住む人も誇りを持てる、人が集まるまちに	・温泉(香り)、創作の森、湖、海等の自然(朝日) ・さつまいも、フルーツ、トマト等の食べ物 ・大学(工大、県立大)がある ・人とのつながりの強さ、祭りなどの地域のつながりの強さ ・企業	・大学、社会人大学、学生との連携、産官学、企業との連携 ・坂井市との連携(合併したい、したくないがある) ・お店が少ない、若者の働く場所、過ごす場所がない ・観光客が少ない ・スポットをつなぐ周遊ルート、温泉まちあるきができない
20	・関東に住んでいると思う。結婚や出産で自然豊かなところに引っ越すかも ・息抜きに温泉地巡りやお祭りに参加したい ・工場勤務か IT 関連(就活中なのでわからない)	・海、山、川、湖全てある、自然豊か ・大学のキャンパスが2つある ・新幹線で便利になった ・温泉がある	・企業が少ない→市にあまり参加していない ・大学との連携があまりされていない→産学官連携 ・JR 駅に何もない。夜は特に夜間タクシーやコンビニもない ・あわら温泉が遠い ・大学アパートがない ・車が必須
21	・街を見つめて発展させる仕事に携わっていたい ・あわら市拠点に地域おこしをしている ・地方を巡ったり、観光をしたりすること ・住んでいる場所:もちろんあわら市	・安まる住環境 ・魅力ある温泉も含めた企業 ・フルーツ王国 ・豊かな農業	・産学官住民の結びつきが弱い ・お金をどこから生み出すのかの感覚→win-win の協働による企業に協力していただき、豊かになっていくしかないと思っている ・住民のコミュニティをもっと活発化させること

	あなたの“ミライ”の姿	あわら市の“イマ”の姿	
		あわら市の魅力	あわら市の課題
22	・みんなが住みたくなるまち、場所 ・日本一を目指して頑張っている ・会社・地域・温泉→男女平等・障がい者雇用・高齢者雇用	・温泉 ・大学 ・農業 ・時間的ゆとり	・閉鎖的 ・金津、芦原が区分されている ・飛び抜けた部分がない(政策) ・他市との連携が弱い ・長期的視点に立った政策が無い、見えない
23	・今と同じ場所で農業をしている ・地域とコミュニケーションをとりながら地域を守っていく	・人があまりいない ・子育てしやすい環境 ・自然豊か(温泉も含む)	・人口減少によるサービスの低下コミュニティが少ない ・交通の便が悪い(市街地)→観光地などのアクセス
24	・フルリモートで県外の企業に勤め、副業(複業)であわら市のまちづくりに貢献 ・朝は犬と近所の竹田川を散歩。自然の豊かさに癒される ・昼は家でリモートワーク。気分転換に近くのカフェで一息 ・夜はゆのまち駅前の足湯に浸かってほのぼの。横丁で飲んで帰る観光客とふれあう	・都会へのアクセスの良さ(東京に行きやすい、小松空港) ・自然豊か ・地価が安い ・温泉	・若者の流出 ・良さ、魅力の発信が弱い(市民、市外の人知らない) ・学術機関、優良企業があり、素敵な人材、環境があるのに、コラボできていない
25	・あわら市ではないかもしれないが、県内のどこかで働いている ・可能であればあわら市に住みたい→異動や転勤がない限りは福井県内に住むつもり ・あわら市にあるおいしい食べ物屋さんに行っておいしいものを食べたい	・人が温かい、人との距離が近い ・自然が豊か ・食べ物がおいしい ・ゆったりできる場所が多い ・子育てがしやすい	・車がないと住みづらい ・市内の交通の便が少し悪い(バスの本数等) ・働く場所が少ない、賃金が低い ・良いところはたくさんあるが、アピールが足りない ・駅前が少し寂しい
26	・仕事:あわら市役所 ・趣味:野球 ・住んでいる場所:今も住んでいる自宅 ・ライフスタイル:仕事:家族:趣味=1:1:1	・人が少なく自然が豊かで、のんびり暮らせる ・子育てがしやすい ・穴場の観光スポットが多い(桜の名所が多い) ・新幹線が止まるのでアクセスが良い ・空港が近い	・市内、公共交通の本数が少ない ・情報発信 ・芦原温泉駅周辺に飲食店が少ない ・平日も含めて駅周辺に人が少ない(大学や専門学校、企業の誘致)

	あなたの“ミライ”の姿	あわら市の“イマ”の姿	
		あわら市の魅力	あわら市の課題
27	・ホテル経営に加えて、地域観光のプロデュースや、若手の育成にも携わっている ・新しい価値を生み出す地域企業として、他地域からの視察や連携も活発に ・趣味／ライフスタイル：地元の食材を活かした料理づくり、街なかサイクリングを楽しみながら、地域の仲間と語らう時間を大切にしている ・ひたすら静かな場所で読書に没頭する時間を大切にしている。温泉街の喧騒から離れた、自然に囲まれた空間で本を読む—そんな贅沢な日常があわらにはある。 ・住まい：もちろんあわら市。温泉街の中心部に暮らしながらも、自然と人との距離が心地よい空間を大事にしている	・何ととっても豊富な温泉と旅館文化。歴史を感じさせる街並みと、人情味あるおもてなしが根付いている ・食材の宝庫でもある。海の幸・山の幸、そして水のおいしさは生活の豊かさを支えている ・人のつながりの近さと深さがある。移住者も巻き込んだコミュニティの動きが生まれつつあるのも希望	・観光が“点”にとどまり、“面”になっていない。温泉や有名観光地に集中しすぎており、周辺への波及が弱い ・若者や子育て世代の定住が進まない。働き方や暮らし方の選択肢が少ない ・行政と民間のスピード感のズレ。民間がやりたいことに対して制度や仕組みが追いついていないこともある ・“語られていない魅力”が多い。検索されない価値こそ地域の強みだが、そこを言語化・体験化する力が不足している
28	・住んでいるのは、現在の場所(あわら市) ・今の仕事(自営業)から離れたい ・〇〇教室とかに参加して、いろんなことにチャレンジしてる。 ・ワークショップにも積極的参加してるかな ・地区の農業法人さんの仕事のお手伝いをしながら、家庭菜園をする ・希望として息子が結婚して同居(2世帯で)くれて孫の成長を見守れたらいい♡	・フルーツ(柿・スイカ・メロン)、越のルビー、富津金時(サツマイモ)食べ物が美味しい ・自然豊かで生活しやすい。子育ても恵まれている ・田舎では近所の人が気にかけてくれる。人が好き	・田舎では高齢化が進んでいる。同居する子供が少ない ・JR 芦原温泉駅を降りても温泉街じゃない。湯のまち駅とのアクセスが不便 ・あわら市には魅力ある所がたくさんあるのに、うまくアピールできていない



(2)第2回の検討内容

5つのまちづくり分野ごとのグループに分かれ、「めざしたい未来のあわらしとその実現のために必要なこと」について、KJ法により意見交換しながら模造紙にとりまとめました。



1班(産業・仕事、観光) “誰か”じゃなく、“私”がつくる自慢のまちあわらし		
	めざしたい未来のあわらし	実現のために必要なこと
観光	■観光＝仕事の間として魅力的 ■観光客にリピートしてもらえるまち ■観光客が喜んでお金を使うまち ■観光客も地元民も笑顔になれるまち ■観光＝文化の入り口に	■お金を落としてもらう仕掛け ■行政の支援が必要 ■他と違う魅力を選んでもらう
仕事	■「稼ぐ人」が育つまちをめざしたい ■農林水産業と観光業との連携(観光農園や収穫体験等) ■産業が連携するまち ■企業の誘致で人口増加を。現在あわらしにある優良企業との連携 ■“業”より人が主役の経済 ■価値をつくる仕事主流に	■若者の受皿になる居住環境 ■多種多様な働く場所 ■学生の住む場所を⇒旅館の共同住宅従業員寮として使うところを少し 学生にも ■高校生アルバイトの受皿が必要。一般教養を現場で学ぶ
情報・イメージ	■地域の人も外の人も「あわらっていいよね」と思ってもらえるまち ■住んでいる人が魅力を自信を持って伝えられる ■市外の人に「いいなあ」と思ってもらえる ■ぶらりと歩いていると若者も歩いているようなまち ■住んでいる人が楽しめるまち ■幸せを感じられるあわらし ■情報化が進んだまち ■若者が多いまち	■様々な人が意見交換できる場所づくり ■SNSの利用 ■移住の人や県外の人など外から魅力を知る ■知ってもらうこと＝情報発信 ■屋台村の学生枠でチャレンジ応援 ■住民がガイドで再発見 ■住民が魅力に気づく・発見すること ■まちあるきイベントとか？ ■若者が外に行きたがるような取組。場所だったイベント ■幸せになるコンテンツを充実(発見)
その他	■みんなが自信を持って主役になれるまち ■笑顔あふれる自慢のまち ■みんなが主役 みんなが自慢できるまち あわらし ■みんなが魅力を感じるまち ■“誰か”じゃなく“私”がつくるあわらし ■全員“主人公” 自信にあふれるまち	

2班(生活環境・安全、環境・都市基盤)		これぞ 住みたくなる街
	めざしたい未来のあわらし	実現のために必要なこと
自然	■自然は現状のままで守っていききたい ■緑豊かなまち 緑を残して ■自然環境は山、海、湖、丘陵地、田畑がありすばらしい。このまま清掃をしたりして守っていく ■自然を壊すような大規模な開発行為はやめる ■花植ボランティアを守っていききたい	■住んでいるところは自分たちで守る
ゴミ対策	■公園など道にゴミが落ちていない ■ゴミをしっかりと別して捨てていく ■ゴミの分別がしっかりとされる ■自分がいらなくて捨てるものでも、ほしい人がいるかもしれない。もっと不用品の交換等取り上げた方がよい	■ゴミ捨て場にカメラの設置をする ■捨てる場所、分別は各自がする ■ゴミ袋に名前を書く
住環境	■高齢者でも移動がしやすい交通環境づくりを ■あわら温泉街に行きやすい環境づくりを ■市街地と農村部で格差のないまちづくり ■お店が充実した環境を ■各自1台車を所有している。乗れなくなった時の対策はしっかりすべき	■隣近所助け合って車で移動する ■女心をくすぐる環境を ■スタバとかマック(ファミレスでも)で友達としゃべりながら食事をしたい ■施設の近くにスタバを作る
水道	■全国で水道管の破裂があるが、あわらしもそろそろ新しくしていかなければならないのでは ■古くなった水道管が整備され、災害等に強いインフラが整っている	■点検調査
防犯	■犯罪をしにくい景観 ■警察に頼らず、住民が目光らせている社会づくり ■小・中学生が安心して登下校できる	■防犯隊や見守り隊 ■家の周囲にいるときは鍵をかけないでいるが、少し気をつけていこう ■朝、小学生の見守りをしている人がいる。それを続けていく
防災	■災害時の自助・共助の強化 ■誰もが地震速報等の情報がわかるようにしていく	■防災は真剣に取り組みたい。地区で女性で話したい ■防災無線を各戸配布し、災害により早く情報伝達できる体制を整える ■行政側が自助・共助の大切さを指導し、住民に意識づけする
交通安全	■車が走りやすい道路 ■交通安全 引き続き交通事故ゼロをめざす	■点検・調査 ■一人一人が安全運転をする

3班(福祉・保健・医療) 地域と共に自分らしく生活できる街 あわら市		
	めざしたい未来のあわら市	実現のために必要なこと
子育て	■核家族が仕事と子育てが安心してできるまち ■子育て(パパ・ママ)が安心して生活を送る、仕事を続けることができる ■子育てについて悩んだときに気軽に相談したり、情報提供ができる場所がある ■子どもの充実した習い事 ■子どもたちがのびのび遊べる場所・環境がある ■相談方法の簡略化、多様化	■子育てに関して相談できる場所をつくる ■市街地に大きい公園。自転車乗り回せる ■相談先の情報発信 ■図書館とカフェの複合施設 ■教育段階から学ぶ機会を
保健	■健康寿命が長い ■スポーツイベントの開催 ■心も体も健康過ごせる ■相談できる関係がある。頼り頼られる関係がある ■安心できる老後生活(将来の心配をしなくていい) ■介護が必要になっても希望する場所で生活することができる ■相談先などの明確化	■夜の居場所づくり ■スポーツイベントの開催 ■トリムマラソン、散歩、登山、トリムクラブ ■温泉の無料券の配布
障がい	■障がいのある方を家族に持つ方の苦労を少しでも減らしていける ■障がいのある方がサービスをしっかりと選択できる ■障がいのある方が支援を受けられる資源が充実している	■サービス事業所の充実 ■複合的な施設(子ども、障害、高齢) ■偏見をなくすための機会 教育と理解促進
地域	■いろいろなライフスタイルが受け入れてもらえる地域社会 ■仕事の仕方の多様性が充実している ■多様性への理解がある ■同性同士のお付き合いが認められている ■似たような悩みを持つ人同士のコミュニティが充実している ■交通弱者にやさしい ■世代を超えた関わりが充実している ■多世代で集える場所があったらいい	■地域ごとに集まる場、顔の見える関係 ■多世代が集まる居場所づくり ■季節ごとの祭り⇒前後のつながり ■イオンができるといいな ■スターバックスを誘致する ■リモートワーク制度の充実

4班(教育・文化・スポーツ)		あわら学の創設
	めざしたい未来のあわら市	実現のために必要なこと
文化は美しい	■美術館 芸術にふれることができるまち ■蓮如のことをもっとアピール 歴史を語る ■文化交流をもっと手軽にやれるといい ■スポーツ 何歳になっても活動できる場所がある ■大人も学び続けられる環境 ■やりたいスポーツを手軽にやれたらいいな ■ニュースポーツをとりいれ、誰でも参加できる場をつくる ■カヌーポロをもっと活性化する	■SNS 広告でイベントの宣伝 ■大学にポスターを掲載 ■実施する母体 ■情報を手に入れやすい仕組みづくり ■参加手段をもっと PR する ■オープンバッジ制度の導入
若者がいっぱい	■若者人口が増えるといい(人口流出減) ■若者が住みやすいまち	■大学を設置 ■車がなくても移動できる仕組みづくり ■若者が増える要素の充実
地域愛を育てる	■学校(都会)都市では学べない学習ができる ■地域で子どもを育てる ■ふるさと教育の充実 ■地域愛であふれる	■地域探究の充実
教育の戦略化	■教育の戦略化が必要。子どもたちが残ってくれる、あるいは U ターンしてくれる戦略化(悪い意味ではなく) ■小・中学校の教育レベルを上げる ■個別最適な教育が受けられる ■個性に合わせた教育が受けられる ■大学ができたらい	■教員レベルを高める戦略づくり ■教員の多忙化の解消 ■教員の能力向上 ■地域人材の活用 ■教員の数 ■コミュニティスクール
その他	■世代問わず交流しやすいまち ■イベントが盛んなまち	■いくつになってもあわら学を学べる環境は大切。市が主導してその環境の伝播が子どもに伝わる

5班(共生、協働・コミュニティ) 住みたくなる 住みつづけたくなる 日本一のやさしいまち あわら市		
	めざしたい未来のあわら市	実現のために必要なこと
共生・人権	■男だから、女だからは× ■外国人との共生 ■障がい者がいきいきと頑張れるまち ■多様性に満ちあふれるまち ■ダイバーシティ DEI 日本一のまち ■障がい者雇用率日本一のまち ■ジェンダーレス日本一のまち	■交流イベント
働く	■大学で県外に出ても戻ってこられる ■働きたくなる市 ■世界に通用する人材の輩出 ■企業と地域が一体となって働ける環境がある ■ワークライフバランス ■10人未満の小企業が多い。巻き込む	■ワークイノベーション 働き方戦略 ■働く企業のアピールと社会性を訴える ■商工会・企業と市が連携
住む	■安心できるあわら市 ■誰にでもやさしいまち ■あわら市にすることが憧れになる ■住みたくなるあわら市 ■独身でも形見がせまくない ■老若男女が仲が良い ■シングルマザー、シングルファザーも子育てしやすい	■夢が持てるまちに ■子育てがしやすい環境がある ■空き家の利活用
集まる場所 コミュニティ	■(おしゃべり)誰かと会話できる場所がある ■集まって実現できる市 ■みんなに居場所がある ■2つ以上のコミュニティにゆる〜く属している	■若い人がアクションを起こして活動できる状況がある ■人と人をつなぐ場 共感する場 ■いつでも集まれる場と見守る人 ■組織体も集まれるコミュニティがある ■教育機関との連携 ■地域 コミが盛ん ■週イチ、月イチで通える場所がある
DX		■フェス 地域・若者・企業がつながる ■SNS ホームページ、広報誌 ■知りたい情報はすぐわかる
人と移動	■お金だけで釣らない移住・定住施策 ■老人がいきいきしている	■車・地域タクシー(交通手段の確保)

(3)第3回の検討内容

5つのまちづくり分野ごとのグループに分かれ、「まちづくりのアイデアの具体化」について、KJ法により意見交換しながら模造紙にとりまとめ、最後にグループごと全体に向けて発表を行いました。

1班(産業・仕事、観光) “誰か”じゃなくて“私”がつくる自慢のまち あわら			
プロジェクト名	<PR> 「あわら知」プロジェクト	<チャレンジ> 「できるかもラボ」プロジェクト	<温泉> 「温泉部」プロジェクト
取組内容	■住民がPR隊なまち ■地元の行事やまつり等の観光客と地元の人との交流イベントを行う。かなづまつり、あわらまつり、湯かけまつり等 ■観光地の紹介(吉崎、創作の森、北潟湖周辺、アフレア等)イベントを行うことが必要 ■地元の特産物(フルーツ、野菜、ソフトクリーム)きららの丘等の直売所のPR ■“食料調達”体験プラン 旅館とかで使われる食材を実際に収穫する体験など ■観光農園であわら市をアピール ■あわら市愛が自然と広がるPRづくり ■ブランド化	■学生とのコラボチャレンジ ■チャレンジできる場所をつくる。出店しやすいような空気感があるとみんなチャレンジしやすい ■イベント企画 ■学生×旅館(住む場所、アルバイト、体験) ■タイミー×旅館組合 ■シェアキッチン 屋台村	■「温泉自慢」市民限定温泉ツアー(旅館めぐり) ■「温泉自慢」バスデー入浴無料 ■「温泉自慢」温泉ソムリエ養成プロジェクト
解決したい課題	■温泉しかないと言われた ■住民が知らない ■知らないことが多い	■若者が集まる場所がない ■きっかけ(窓口?集まり?)がないように感じる	■温泉の魅力を知らない
活用したい魅力	■コンテンツが多い(魅力たっぷり) ■温泉、歴史、自然、人のあたたかさ⇒都会とは違う魅力たくさん	■屋台村とかのチャレンジしやすい場	■温泉！！



2班(生活環境・安全、環境・都市基盤) これぞ住みたくなる！！ ～ねむらない街 AWARA～		
プロジェクト名	あわら⇒アワランドプロジェクト	観光客も市民も一緒 愛 land
取組内容	■ボランティアの時間を設けずに、好きな時間にできるように ■花植えボランティア団体を守っていく ■花植えの体験に来た人にしてもらう ■花のアートをつくる ■活動したらポイントがたまるようにして、たまったらグッズがもらえる ■県立大学の学生と一緒にする(ex.デザインから考える実習をするなど)	■自然と観光の共存 みんなにもっとすばらしい自然をアピール ■自動運転バスをあわら市内に取り入れる(24 時間) ■夜まで利用できる移動手段 ■市民も観光客も両方利用できる ■あわらの自然を全部見て、行ってもらえるプランをSNSで発信
解決したい課題	■ボランティアの担い手が減ってきて、花植えボランティア団体の維持が困難になっている ■メンバーが集まらない	■湯のまち駅前にあまり施設がない ■デマンドタクシーは夜やっていない
活用したい魅力	■自然環境は山、海、湖、丘陵地、田畑がありすばらしい	■北陸新幹線があるから、県外に行きやすい ■30 分以内でも学校やスーパーに行ける



3班(福祉・保健・医療) 地域と共に自分らしく生活できる街あわら				
プロジェクト名	心の若さプロジェクト	道徳教育 人材育成プログラム	よそから呼んでくる プロジェクト	(逆に)かかわらない プロジェクト
取組内容	■講演会 ■頑張らない精神	■企業での教育 ■学校での教育 ■良い環境(楽しい、笑顔)	■楽しいこと ■カフェやデパートの誘致 ■福祉サービスの誘致	■多種多様なコミュニティづくり ■過干渉しない居場所 ■気軽にいれる居場所
解決したい課題	■地域コミュニティから孤立している ■親の働き方(時短勤務) ■子どもの放課後・休日の居場所が不足(偏っている) ■偏見がある(障がい、引きこもり、多様性 etc.) ■障がいのある方への資源不足 ■障がいのある方や家族の負担を減らしたい ■安心できる相談窓口の不足			
活用したい魅力	■同居ではなく近居に親がいること ■土地はある ■公園がある ■誰とでもあいさつできる			



4班(教育・文化・スポーツ) つながりあって学べるまち ～あわら学～		
プロジェクト名	地域愛育成プロジェクト	大人も学び続けられる環境プロジェクト
取組内容	■ふるさと教育の充実(地域と学校をつなげる) ■地域人材の活用(あわら市外部指導員一覧の作成→現場での活躍促進(教育委員会)) ■9カ年を通した小中連携を図る(幼児期からつなげられるとなお良い)	■地域施設を活用したワークショップの情報発信強化(+内容の充実) ■主催者と参加者をつなぐ仕組みづくり 主催者⇄市⇄参加者
解決したい課題	■地域愛不足 →人口流出 ■戦略的な教育がなされていない →教員不足、カリキュラムオーバーロード、教員の質の低下	■ワークショップの開催を知らない→参加者が集まらない ■ワークショップの内容の偏り ■先生や講師の不足
活用したい魅力	■自然を活かした施設等 →イベントが可能、キャンプ、釣り、カヌー、トリムパークかなづ、金津創作の森美術館 ■意外に人材はある	■ワークショップがたくさん開催されている



5班(共生、協働・コミュニティ) 住みたくなる 住みつづけたくなる 日本一やさしいまち あわら				
プロジェクト名	住む・働くプロジェクト	とにかく集まるプロジェクト	なんでも情報発信プロジェクト	令和時代の若者の「理想の2人」を叶える「やさしいあわら」へ
取組内容	■大人の職場体験(社会人向けのインターンシップ(会社体験)、小企業まとめたの会社見学会やインターンシップ) ■異業種交流会(団体を超えて自由に参加できる、自己のしたいことがつながるための企業の魅力紹介、専門的機関の設定。受入・相談) ■就活生による企業のDX推進「企業お助けプロジェクト」 ■子育て期も「正規共働き(共家事)」 ■子育ての預ける体制の整備、高齢者の活用 ■空き家の利活用プロジェクト(空き家ツアー、空き家の整備、住む家化・店舗化) ■市内お試し移住	■公共施設の開放、利用促進(週末に全開放、大人も子どもも利用できる) ■小学校開放デー(いろんな学校に行ける、中学校・高校もたまには開放) ■あ！わーらどフェス(外国人交流) ■あわら市の各地で同時期にフェスを開催(サードプレイスを充実させる) ■公民館のコミュニティセンター化(週イチで公民館カフェの開催) ■人とのつながりができる	■調べたら欲しい情報が手に入る(病院、スーパーにあわら市の情報を掲示板とかで置く) ■ホームページ、SNS、紹介メディア(市民インフルエンサー、デジタルとアナログを同時発信) ■高齢者にもやさしいDX化	■意見交流、交換の場を提供 ■女性活躍の推進(女性フォーラムの開催、女性活躍の拠点整備) ■若者活躍の推進(若者会議の開催、シビックプライドの醸成) ■ジェンダーギャップの解消の推進(企業トップ向けセミナーなどで理解を深める、宣言と登録を進めてアピールする、女性の管理職・議員) ■みんな(男女)が活躍できるあわら ■女性のエンパワーメントの促進 ■あらゆる場面で方針決定・過程への女性参加
解決したい課題	■働き手の高齢化 ■あわら市の企業や働く場所を知らない ■若者(働き手)へのアピールが足りない ■若者たちのUターン・Iターンが少ない	■地域と行政の連携がとれていない ■誰かと気軽におしゃべりをする場が少ない	■知らない(魅力を調べても欲しい情報がネット上にも少ない)	■人口減少
活用したい魅力	■定住促進＝企業そのもの	■小学校や公民館が各地にある ■近所同士のつながりが大きくなっている	■知られていないあわらの魅力がたくさんある	

